

授業科目名	体育スポーツ実践的研究演習II	
科目番号	02JD103	
単位数	2.0単位	
標準履修年次	2・3年次	
時間割	筑波:春学期 鹿屋:前期、木曜1限	
担当教員	金高 宏文,高橋 仁大,前田 明,山本 正嘉	
授業概要	<p>体育およびスポーツにおける実践的な研究能力を身につけるために、受講者が関わっている体育やスポーツの現場において、自らがデータを収集し、それを実践研究の論文としてまとめ、『スポーツパフォーマンス研究』をはじめとする、実践的な研究論文を掲載する雑誌に投稿・掲載するまでの作業を行う。</p>	
備考	鹿屋体育大学開講	
授業形態	演習	
学習目標	<p>自らが携わる体育・スポーツ現場において、データを収集し、それを元に実践的な研究論文を執筆・投稿し、査読者とのやりとりを経て掲載にまで持って行くことで、自立した研究者となれるような能力を身につける。</p>	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 演習の趣旨説明: 実践的研究とは何か 2. 論文の執筆(例: 陸上競技・短距離走) 3. 同上(例: 陸上競技・長距離走) 4. 同上(例: 陸上競技・跳躍) 5. 同上(例: 陸上競技・投擲) 6. 同上(例: 球技スポーツA) 7. 同上(例: 球技スポーツA) 8. 同上(例: 球技スポーツA) 9. 同上(例: 競泳) 10. 同上(例: 自転車競技) 11. 同上(体操競技) 12. 同上(例: 水上スポーツーセーリング) 13. 同上(例: 水上スポーツーローイング) 14. 同上(例: 武道ー柔道) 15. 同上(例: 武道ー剣道、なぎなた) 	<p>金高、高橋、前田、山本</p>
履修条件		
評価方法	<p>演習への積極的な参加、および『スポーツパフォーマンス研究』をはじめとする、実践的な研究論文を掲載する雑誌への執筆・投稿の成果から判断する。</p>	
教科書	『体育・スポーツ分野における実践研究の考え方と論文の書き方』福永・山本編著 市村出版(2018)	
参考書	『スポーツパフォーマンス研究』(http://www.sports-performance.jp/)をはじめとする、実践的な研究論文を掲載する雑誌に過去に掲載された研究論文	
オフィスアワー	<p>随時だが、事前にアポイントをとることが望ましい</p> <p>金高(大学院棟3階4教員室)</p> <p>高橋(研究棟8階809教員研究室)</p> <p>前田(スポーツパフォーマンス研究センター長室)</p> <p>山本(スポーツトレーニング教育研究センター2階センター長室)</p>	